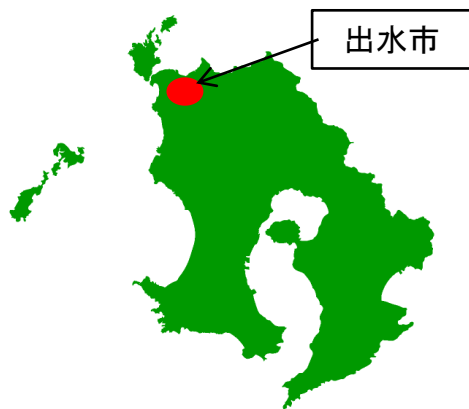


鹿児島県の野鳥糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出！！

11月5日に鹿児島県出水市で採取された野鳥糞便から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)が検出されました。

また、同じ出水市で回収された死亡野鳥もA型インフルエンザ陽性で、現在精密検査中です。

鶏などの家きん飼育者の皆様には、野鳥の侵入防止、鶏舎及び衛生管理区域内の消毒など飼養衛生管理基準に基づく発生予防対策をお願いします。



【経緯】

- 11月5日(木)
 - 鹿児島県出水市で野鳥の糞便を採取
- 11月10日(火)
 - 国立環境研究所が遺伝子検査を実施した結果、A型インフルエンザ遺伝子陽性。
- 11月17日(火)
 - 鹿児島大学の確定検査で高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N8亜型)検出
 - 採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化

▶家きん舎には様々な経路からウイルスが侵入します。今一度、鶏舎の点検・確認と補修をお願いします。

- ☑防鳥ネットなどによる野鳥やネズミ等の家きん舎への侵入防止
- ☑農場に入る車両の徹底消毒
- ☑家きん舎ごとに、専用の長靴や作業服の着用
- ☑家きん舎に入る人や物品の徹底消毒
- ☑踏み込み消毒槽は、消毒薬が汚れたら交換



▶毎日、健康観察を行い、異状を発見した時は直ちに当所へ通報を！

京都府山城家畜保健衛生所 TEL:0774-52-2040(夜間・休日転送)

FAX:0774-52-2030